

2025 年度 第 3 回理事会議事録

I. 会議名 : 2025 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 3 回理事会

II. 開催日時 : 2025 年 11 月 28 日 (金) 14 時 30 分～17 時 00 分

III. 開催場所 : WEB会議

IV. 出席者 : 理事出席 13 名, 監事出席 2 名, その他 2 名

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	岡田 康彦	○	理事	杉本 宏之	○
理事	新井場 公德	×	理事	笠井 美青	×	理事	堤 大三	×
理事	飯沼 達夫	○	理事	加藤 猛士	×	理事	中村 真也	×
理事	石丸 聡	○	理事	木村 一成	○	理事	林 一成	○
理事	稲葉 一成	○	理事	佐藤 剛	○	理事	古谷 元	○
理事	今泉 文寿	×	理事	佐藤 浩	○	理事	森口 周二	×
理事	王 功輝	○	理事	柴崎 達也	○	(理事 13 名, 定足数 11 名)		

監事	竹下 航	○	監事	木村 勝美	○	(監事 2 名)		
----	------	---	----	-------	---	----------	--	--

事務局	鈴木 英則	総務部	藤元 亮		
(その他 2 名)					

○理事会開催にあたり出席者の通信確認を行った。

○理事会開催時における理事の出席数は 13 名。定足数 11 名 (理事の過半数) を満たし理事会は成立。

○議事録署名人は, 浅野会長, 竹下監事, 木村監事。

<議長あいさつ>

浅野会長が開会のあいさつを行った。

議題 I . 審議事項

1. 2026・2027 年度役員候補者推薦委員の選任

林理事より、2026・2027 年度役員候補者推薦委員の選任についての説明がなされた。

- ・ 審議の結果、賛成 13 票、反対 0 票で承認された。

2. 研究発表会申込システム使用契約の延長

佐藤剛理事より、研究発表会申込システム使用契約の延長についての説明がなされた。説明後の理事・監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 支部のイベント等でシステムを使用することはできるか。
→研究発表会での使用のみであるため、支部では使用できない。新たな契約が必要となる。
- ・ これまで不具合等の発生はなかったか。
→領収書の区分の要望等、細かい部分での対応ができない状況もあったが、大きな不具合は発生していない。
- ・ システム自体も改良されてきている。新たに別の会社と契約をすると、システム作成も一から構築することになるため、事業計画部としては、継続したいと考えている。
- ・ 審議の結果、賛成 13 票、反対 0 票で承認された。

3. 学会ホームページでのプライバシーポリシーの掲載

林理事より、学会ホームページでのプライバシーポリシーの掲載についての説明がなされた。説明後の理事・監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 追記検討案の「提供された個人情報とは本学会の目的及び事業の達成のため必要な範囲内において保持し、必要がなくなったときは遅滞なく消去します」については、追記したほうがよい。
- ・ 追記検討案の「委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行う」については、だれが監督を行うかを明確にした方がよいのではないかと。
→冒頭に「関連する法令を遵守し・・・」と関連法令の遵守について記載し、この後、学会としてプライバシーポリシーを記載する構成とする。関連法令と学会としてのプライバシーポリシーと重複はあってもよいと思うが、冒頭の関連法案の遵守について、追記したほうが良いと考える。
- ・ 個人情報の消去の要請があった場合の記載が曖昧のように感じるが問題ないか。
→細かく書きすぎず記載はそのままとし、要請があった場合の Q & A 等を準備しておくことでよいと思われる。

- ・ 上記の意見について反映とする。反映したプライバシーポリシーの学会ホームページへの掲載について承認頂きたい。
- ・ 審議の結果，賛成 13 票，反対 0 票で承認された。

4. 入退会者状況

鈴木事務局長から，入退会者状況についての説明が行われた。

- ・ 入会者についての審議の結果，賛成 13 票，反対 0 票で承認された。

5. 土砂災害緊急調査細則の変更案

古谷理事より，土砂災害緊急調査細則の変更案（変更の方向性）についての説明がなされた。説明後の理事・監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 支部で調査団候補者リストを管理し，支部でリストを基に調査団を検討とする案という認識でよいか。
→調査団候補者リストは準備せず，支部長，支部の事務局で検討する形が，迅速にでき，手間も少ないと考える。
- ・ 現行の細則の記載の調査団員候補者リストの 2 年毎の更新は必要ではないか。
→支部の所属会員は支部で把握できているため，調査団候補者リストを別途作成し，更新していく必要はないのではないかと思う。
→現在の調査団候補者リストは，Excel であるが，支部の所属会員は Web で確認することが可能であるため，見直してもよいように思う。
- ・ 災害調査団候補者リストについては，過去に調査団が知らないうちに決まっており，参加しなかったという方がいた等の問題が生じたため，予め災害調査の参加希望がある方を把握するために調査団候補者リストを作成することになった経緯がある。希望がある方が参加できるような配慮も必要と考える。
- ・ 調査団候補者リストの更新は，転勤等もあるため，2 年毎とせず，随時ということではないか。
- ・ 現状で調査団候補者リストが災害調査団の検討の際に活用されているのか。活用されていない場合もあるように思われる。
- ・ 災害の発生の有無にかかわらず，1 回/年程度の頻度で土砂災害緊急対応委員会を行い，調査団候補者リストについての周知等を行っていく必要があるかもしれない。
- ・ 現状の細則は，委員会で実施する事項の記載が曖昧に感じる。委員会で実施する具体的な内容（調査団を派遣の有無，支部 or 本部で対応，他学会と合同の有無等の基本的な

方針検討等)を記載したほうが良いように思う。

- ・ 細則の委員会組織は、ほぼ理事会メンバーであるため、本部長、副本部長を予め定めておいた方がよいのではないか。
- ・ 土砂災害緊急調査の目的が細則に記載されていない。目的が別途、定まったうえでの細則という認識でよいか。
→学会定款の事業の目的の部分で記載されている。
- ・ 支部のメンバーで構成する形もあるが、行政機関の立場からすると、学会全体としての知見を広く頂き技術をスパイラルアップさせたいという考えもあるように思われる。調査団編成にあたっては、効率性だけでなく、技術を集結させて調査するという観点も必要と思う。
→災害に応じて、効率性を重視して支部中心で動くのか、本部中心として動くのかを検討する形とすべきと思う。
- ・ 当審議事項は、継続審議とするものとし、頂いた意見を踏まえ、研究調査部で細則案を作成していく方針とする。

議題Ⅱ. 報告事項

1. 奈良大会実施報告

王理事より、資料に基づいて報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

2. 2025年最近の地すべり・土石流災害調査報告会

古谷理事より、資料に基づいて報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

3. 2025年度日本地すべり学会海外研究者による講演会

佐藤浩理事より、資料に基づいて報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

4. 会長、副会長及び専務理事の職務執行状況

浅野会長、石丸副会長、飯沼副会長から職務執行状況についての報告が行われた。欠席の新井場専務理事の職務執行状況については、浅野会長から報告が行われた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

5. 共催・後援の承認状況

林理事より、資料に基づいての報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

6. jisuberi メールングリストの移行状況

鈴木事務局長より、移行後の利用者数等の報告が行われた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

以上

議事録署名人 会長 浅野 志穂 ⑩

議事録署名人 監事 竹下 航 ⑩

議事録署名人 監事 木村 勝美 ⑩